

令和元年度

事業報告並びに決算報告書

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆ め ク ラ ブ 神 奈 川
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

はじめに

神奈川県老人クラブ連合会は公益財団法人として8年目を迎えました。今年度は、神奈川県から事業委託を受けた介護予防・生きがいづくり支援事業として、健康づくり活動や生きがい活動、友愛活動等に取り組む老人クラブ活動と連携・協働を図り、「ゆめクラブ大学」を各6ブロックで2回ずつ開講するとともに、高齢者が地域支援事業の担い手としても活躍できるよう、昨年度に引き続き「地域支援事業担い手養成研修」を実施し、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくりや生きがいづくりによる介護予防に取り組みました。

老人クラブは地域を基盤とする高齢者の自主的な組織として、誰もが友愛の気持ちを持ち、仲間づくりや健康と生きがいづくり、サークル活動などによる生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、高齢者の知恵や経験を生かし、また地域の諸団体と共同し、友愛活動、奉仕活動、地域文化の伝承活動等地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会と保健福祉の向上を目指した活動をしています。

神奈川県老人クラブ連合会ではこのような活動を支援するため、

『か』かがやいて元気に生きる

『な』なかまを広げて仲良く生きる

『が』学習・参加で豊かに生きる

『わ』わくわくニコニコ楽しく生きる

の基本方針に基づき、『か』事業では、健康づくり実践教室や事業活動基金を活用したニュースポーツ交流の集い、ゆめクラブ大学等により、活動の基本である健康づくり、生きがいづくり事業を進めてきました。また、『な』事業では、県老連の主要事業であります高齢者相互支援事業（友愛チーム活動）として449チーム（相模原市を除く）が、寝たきりや一人暮らしの体の弱い高齢者の話し相手や日常生活の支援などの高齢者相互の支援活動を行ったほか、「社会奉仕の日統一活動」では公園や道路等の清掃などの美化活動、環境に優しい活動に取り組みました。

令和元年度に実施した事業の詳細については、次頁以下のとおりですが、この一年間、会員皆様方のご理解ご協力のもとに役員、各委員、事務局が一体となり、厳しい財政状況の中においても円滑な事業運営が果たすことができましたことに深く感謝いたしますとともに、今後とも皆様方のより一層のご協力をお願いいたします。

目 次

I 事業報告

『か』かがやいて元気に生きる

- | | | |
|---------------------|-----------|---|
| 1. 健康活動に関する事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | 1 |
| 2. 生きがい及び文化活動に関する事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | 2 |

『な』なかまを広げて仲良く生きる

- | | | |
|--------------------|-----------|---|
| 1. 高齢者相互支援事業に関する事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | 2 |
| 2. 社会参加活動に関する事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | 3 |

『が』学習・参加で豊かに生きる

- | | | |
|---------------------|-----------|---|
| 1. 市町村老連の強化及び指導者の養成 | ・ ・ ・ ・ ・ | 3 |
| 2. 広報活動事業の実施 | ・ ・ ・ ・ ・ | 5 |
| 3. 調査及び情報の収集提供等 | ・ ・ ・ ・ ・ | 6 |

『わ』わくわくニコニコ楽しく生きる

- | | | |
|---------------------|-----------|---|
| 1. 役員会の開催 | ・ ・ ・ ・ ・ | 6 |
| 2. 老人クラブの組織の強化 | ・ ・ ・ ・ ・ | 7 |
| 3. 各種大会、つどい等の開催及び参加 | ・ ・ ・ ・ ・ | 7 |
| 4. 連絡調整事業の実施 | ・ ・ ・ ・ ・ | 8 |
| 5. 財政基盤の確立及び募金運動の展開 | ・ ・ ・ ・ ・ | 9 |

《地域支援事業担い手養成研修事業》

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者が地域支援事業の担い手として活躍するために必要な知識や技能を習得するための研修を実施し、社会参加の普及推進を図った。

- ・モデル研修（6地区） 603人
- ・ブロック研修（6ブロック） 154人（4ブロックは書面開催）
- ・シンポジウム（1回） 114人

実施日：令和2年2月10日 厚木市保健福祉センター

・講演「人生100年時代における高齢者の任務」

（公財）さわやか福祉財団 会長 堀田 力

・事例報告・パネルディスカッション

「助け合い研修で学んだこと」

横須賀市老人クラブ連合会 加藤春樹、川瀬ゆき子

「友愛活動と地域の助け合いについて」

寒川町シニアクラブ連合会 右城栄一

「“おたがいさまネットみなみ”の広がりについて」

南足柄市老人クラブ連合会 樋口恢作

コーディネーター：堀田 力

2 生きがい及び文化活動に関する事業

（1）かながわシニアスポーツフェスタ2019への後援と参加

（公社）かながわ福祉サービス振興会が主催する高齢者の日頃の健康づくり、スポーツ活動の成果の発表の場として行われた事業を後援するとともに広く会員の参加を呼びかけた。

実施日：平成31年4月7日～令和2年2月24日

会場：神奈川県立武道館、小田原テニスガーデンほか

競技種目：グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク、健康マージャン、弓道、テニス、卓球、インディアカ、ダンスなど30種目

参加者：5,291人

な

なかまを広げて仲良く生きる

1 高齢者相互支援事業に関する事業

（1）老人クラブ友愛チーム活動事業の推進

高齢者相互支援事業の一環として、老人クラブ会員を中心に友愛チームを編成し、在宅者等を対象に日常生活の簡単な支援や話し相手となった。

友愛チームの設置：27市町老連 449チーム（内1チームは上半期のみ）

（相模原市老連は別に146チーム）

（2）友愛活動等支援事業の実施

多くの高齢者が地域社会の中で生きがいのある生活を送れるよう、友愛サロン、健康に関する講座やパークゴルフなどのスポーツ活動等を県下31市町村老連で開催した。

参加者：6,910人

1 健康活動に関する事業

(1) 高齢者健康づくり実践教室の実施

高齢者が自らの心身の状況を把握し、日常から健康づくりを続けることを目標に開催した。

ア 湘南ブロック

実施日：令和2年1月30日

会 場：茅ヶ崎市老人福祉センター

参加者：68人

内 容：講座① 「女性の加齢変化の特徴～原因を知って予防しよう～」

県老連 活動推進員・健康運動指導士 松田冴子

講座②(実技) 「日常生活の中で無理なく継続できる運動」

県老連 活動推進員・健康運動指導士 松田冴子

イ 相模原ブロック

令和2年3月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(2) ニュースポーツ交流の集いの開催

高齢者向けのニュースポーツの普及と健康づくり並びに交流を目的に、事業活動基金を活用して、県下6ブロックにおいてスポーツ大会を開催した。

参加者：835人

(3) 健康チャレンジフェアかながわへの参加

健康チャレンジフェアかながわ実行委員会（かながわ健康財団等24団体）が主催する健やかで心豊かな暮らしの実現と健康寿命日本一を目指して、健康づくり実践活動の普及・啓発を目的に開催された「健康チャレンジフェアかながわ」の会議に参加し、負担金を拠出した。

○第1回企画検討会議

令和元年7月18日（木） 神奈川県総合医療会館

○実行委員会

令和元年8月22日（木） 神奈川県総合医療会館

(4) 介護予防・生きがいづくり支援事業

地域に密着した組織として、健康づくり活動、生きがい活動、友愛活動等に取り組む老人クラブ活動との連携・協働により、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくり、生きがいづくりによる介護予防を推進した。

《ゆめクラブ大学》

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者を対象として、県下6ブロックで「ゆめクラブ大学」を各2回開催し、健康づくり、健康体操、介護予防に関する講座などを実施した。

参加者：1,090人

(3) 友愛チーム資質向上研修会の開催

全国三大運動の一つとして位置づけられている友愛チーム活動について、県下を6ブロックに分けて7か所で、その具体的実践活動を行う友愛チーム員の資質向上研修会を実施した。

参加者：562人

2 社会参加活動に関する事業

(1) 地域活動支援事業

ア 老人クラブ開放・地域連携モデル事業

市町村老連が行う老人クラブ活動を広く地域の人々に広報するとともに、世代間、地域間の交流を深める事業を支援した。

実施老連：11老連

参加者：3,011人

イ 地域の安全安心支援事業

子供の見守り活動を行っている単位クラブでの会員用セーフティベスト等の購入や登下校を中心とした見守り活動、特殊詐欺被害防止の研修会など、安全安心な地域づくり事業を支援した。

実施老連：4老連

参加者：9,368人

ウ 市町村老連パソコン活用事業の支援

市町村老連で進めるパソコン活用のための研修会の開催等を支援した。

実施老連：5老連

参加者：1,074人

(2) 老人クラブ社会奉仕の日統一活動の実施

各市町村老連において、美化活動・環境にやさしい活動等を行った。

実施日：令和元年9月20日及び9月20日を中心とした時期

参加者：延べ1,816単位クラブ、延べ32,831人

(3) 共同募金街頭活動

赤い羽根共同募金運動に対して女性会議も協力して街頭募金活動を行った。

実施日：令和元年10月2日

場 所：桜木町駅

参加者：市川初江（小田原市老連）、高橋美登利（相模原市老連）、

小川榮子（南足柄市老連）、江原眞佐美（葉山町老連）、

大橋弘子（二宮町老連）

が

学習・参加で豊かに生きる

1 市町村老連の強化及び指導者の養成

(1) 県老連役員研修会の開催

第1回

県老連事業に係る執行状況、ゆめクラブ神奈川あり方委員会の答申、事業計画(案)等についての報告及び会員増強についての事例発表と討議等を行った。

実施日：令和元年12月10日

会 場：かながわ県民センター 3階 301会議室

参加者：35人

内 容：(1)令和元年度事業執行状況について
(2)ゆめクラブ神奈川あり方委員会の答申について
(3)令和2年度事業計画(案)について
(4)会員増強運動について
(5)会員増強運動に係る事例発表と討議

第2回

地域支援事業担い手養成研修事業のシンポジウムを県老連の理事、評議員、監事、及び活動推進員合同の研修会を兼ねて開催した。

実施日：令和2年2月10日 厚木市保健福祉センター

参加者：114人

→「か」(4)参照

(2) ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催

単位老人クラブリーダー及び新任会長を中心に、その資質の向上を目的に県下を6ブロックに分けて開催地老連を主管に実施した。(湘南ブロックは2会場)

参加者：440人

(3) ゆめクラブ神奈川女性会議研修会の開催

第1回

実施日：令和元年5月23日

会 場：かながわ県民センター 304会議室

参加者：43人

内 容：1 女性会議について(昨年度の活動状況の報告など)
2 ブロック別ミーティング
3 講演「女性の視点を生かした防災、減災を広げよう」
(公財)横浜市男女共同参画推進協会 常光明子氏

第2回

実施日：令和2年1月23日

会 場：波止場会館 4階 大会議室

参加者：48人

内 容：1 講演「横浜市老人クラブ連合会女性委員会が取り組んできたこと」
横浜市老人クラブ連合会 女性委員会委員長
2 全国老人クラブ大会、関ブロリーダー研修会・連絡協議会等の報告

(4) 関東甲信越静ブロック研修会等への参加

関東甲信越静の1都10県5市の老人クラブ連合会が集まって行う研修会の開催(リーダー研修会)及び役職員等の派遣を行った。

ア 老人クラブリーダー研修会

持回り順により、当連合会が主催した。

実施日：令和元年6月27日～28日

場 所：神奈川県箱根町

参加者：223人（本県参加者42人）

基調報告：「5か年計画の会員増強運動と今後の方向について」

全老連参事 河野敦子氏

パネルディスカッション：「友愛活動～一番身近な助け合い～」

コーディネーター：（公財）ダイヤ高齢社会研究財団 澤岡詩野氏

関東地区老連会長表彰：本県受章者 3人

原田武久（相模原市老連）、板倉忠臣（相模原市老連）、柏崎周一（茅ヶ崎市老連）

講演：「人生100年時代の思考法」 デジタルクリエイター 若宮正子氏

イ 活動推進員等研修会

実施日：令和元年7月18日～19日

場 所：群馬県利根郡みなかみ町

研究協議：1 県老連と市町村老連との協議の場づくり

2 「100万人会員増強運動」後の各都県市老連の取り組み

3 単位クラブの解散を防ぐために事務局ができること

情報交換：1 県老連会長表彰の再受賞について

2 会計処理の方法、人員配置について

3 軽スポーツの取り組みについて

4 各都県市が年間に実施する事業と規模について

5 リーダー育成のための研修会等の開催状況について

6 若手会員の獲得について

7 市（行政）から単位クラブに対する補助金について

8 県老連ホームページの活用について 等

（5）全老連研修会等への参加

「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」（全老連）

都道府県老連より推薦された健康づくり、友愛活動の推進者の支援のための研修会に市町村老連において取組みの推進にあたっているリーダー等3名を派遣した。

主 催：全国老人クラブ連合会

実施日：令和元年12月12日～13日

会 場：全国社会福祉協議会「灘尾ホール」（霞が関）

参加者：杉浦正規（伊勢原市老連副会長）、川口勝文（湯河原町老連副会長）、松田冴子（県老連）

2 広報活動事業の実施

（1）広報紙『ゆめジャーナル神奈川』の発行

県老連が単位クラブを経由して最も身近な情報を各クラブ会員に提供することにより県老連と会員との絆を深め、さらには市町村老連との連携強化のため「ゆめジャーナル神奈川」の発行を行った。

また、令和2年1月号から判型、発行部数、配送方法等を変更し、A4判12ページで17,000部発行となった。

発行回数：2回（7月、1月）

発行部数：9万部（7月号）、1万7千部（1月号）

発行方法：単位クラブ会長自宅へ宅送（7月号）、

市町村老連を通じて単位クラブ会長へ配布（1月号）

また、紙面の企画・編集について編集委員会による「ゆめジャーナル神奈川」の評価と編集内容について委員会を開催した。

開催月日	内 容	会 場
1. 9. 19	1 令和元年7月号(第197号)の製作発行状況について 2 令和2年新年号(第198号)の企画内容について	かながわ県民センター
	令和2.3.13開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催に変更。 1 令和2年新年号(第198号)の製作発行状況について 2 令和2年7月号(第199号)の企画内容について	かながわ県民センター

（2）ゆめクラブ神奈川ホームページによる広報

県老連の活動内容をより分かりやすくするとともに、広く一般県民に周知するために県老連事業の活動報告、県老連の概要、機関紙「ゆめジャーナル」、新着情報、お役立ち情報、ツイッターなどを掲載し、老人クラブへの理解と参加を発信した。今年度から、スマートフォンでの閲覧にも対応可能となった。

3 調査及び情報の収集提供等

（1）市町村老連実態調査の実施

市町村老連の組織状況及び活動状況について調査した。

（2）県老連事業情報の提供と市町村老連行事の収集を行った。



わくわくニコニコ楽しく生きる

1 役員会の開催

（1）正副理事長会議の開催

県老連の運営・企画に関する事項について正副理事長会議を開催した。

開催回数：11回

（臨時会（令和元年5月16日開催）、書面開催（令和2年3月分）を含む。）

（2）理事会の開催

平成30年度事業・決算報告、評議員会の開催、令和元年度事業執行状況、令和2年度事業計画・収支予算並びに事務局長の任免等について協議を行った。

開催回数：3回

(3) 評議員会の開催

令和元年度事業・決算報告、評議員の選任及び令和2年度事業計画及び収支予算等について協議を行った。

開催回数：2回

(第2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催とした。)

(4) 監事会

平成30年度事業及び決算について、監事による監査を行った。

実施日：令和元年5月10日

2 老人クラブの組織の強化

(1) 会員増強運動の推進

平成26年度から30年度まで実施した全老連の5か年計画「100万人会員増強運動」を総括し、各市町村老連において、老人クラブ加入促進月間推進要領による、10月から3月の加入促進期間を中心に、加入促進推進計画に基づいて運動を展開した。

3 各種大会、つどい等の開催及び参加

(1) 神奈川県老人クラブ等功労者のつどいの開催

永年、老人クラブ活動に功績のあった個人及び団体に対して顕彰を行った。
また、高齢者福祉関係功労者等の知事表彰を併せて行った。

開催日：令和元年11月15日

会 場：ホテルキャメロットジャパン

受賞者：知事表彰 5団体・2個人

理事長表彰 25団体・62個人

(2) 令和2年新年賀詞交歓会の開催

新たな年を迎え、健康で生きがいのある生活を共に目指すことを祈念し、老人クラブ関係者及び関係機関、団体、企業が一堂に会し、賀詞交歓会を行った。

開催日：令和2年1月9日

会 場：ホテルキャメロットジャパン

参加者：120人

(3) 全国老人クラブ大会への参加

全国各地より約2,400人の老人クラブの仲間が集まり、「高齢者の健康づくり・介護予防活動の推進」、「高齢者の支え合い活動の推進」及び「演じる活動」の3部会で事例発表及び意見交換を行った。また、式典では、老人クラブ育成に功労のあった者に対する全老連会長表彰が行われた。

期 日：令和元年11月26日～27日

会 場：埼玉県さいたま市

本県参加者：15人

受章者《全老連会長表彰》

育成功労者：田場川善雄（藤沢市）、小川文男（横須賀市）

優良老人クラブ連合会：横須賀市老人クラブ連合会

優良老人クラブ：上荻野むつみ会（厚木市）

4 連絡調整事業の実施

(1) 県下ブロック老連連絡調整会議

県下市町村老連を6ブロックに区分し、幹事老連を事務局として、市町村老連の情報交換と県老連事業の企画のために連絡調整会議を行った。

6ブロック：計28回(書面開催1回含む)

(2) 市町村老連事務局長(担当者)会議の開催

市町村老連、ブロック老連と県老連の連携を密にすることにより、相互の事業が充実することを目的とする会議。令和2年3月23日に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催とした。

対象市町村老連：31

議 題：令和元年度補助金等実績報告書の提出について
令和2年度事業計画及び収支予算について
ゆめクラブ神奈川あり方委員会の答申について
令和2年度補助金等交付申請書の提出について
令和2年度分担金の納入依頼について
市町村老連役員名簿等の提出について

(3) ブロック及び市町村老連が開催する大会等への参加

ブロック老連や市町村老連が開催する記念式典やグラウンド・ゴルフ大会、研修会等へ事務局職員を派遣した。

(4) 県、政令市老連連絡調整会議

県老連、横浜市老連及び川崎市老連の三者が、各老連が抱える課題等について、情報提供や意見交換を行った。

開催日：令和2年12月19日

場 所：横浜市西区社会福祉協議会 会議室

参加者：9名

議 題：令和元年度、2年度の予算、事業計画について
その他情報提供、意見交換

(5) 関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会

連絡協議会が主催する会議に理事長、女性会議代表及び事務局長を派遣した。

実施回数：3回

(6) 全国老人クラブ連合会

全老連が主催する評議員会や代表者会議等に関係する役職員を派遣した。

評議員会：2回(書面開催1回を含む)

代表者会議：1回(理事長、女性会議代表、事務局長)

事務局長会議：1回

(7) 神奈川県、神奈川県社協等

神奈川県の各局が主管する審議会や委員会、協議会・部会等並びに(福)神奈川県社会福祉協議会評議員会等に役職員が構成員として参画した。

5 財政基盤の確立及び募金運動の展開

(1) 財政基盤の確立

ア ゆめクラブ活性化推進事業募金運動の実施

期 間：平成31年4月～令和2年3月

募金額：401,111円

イ 事業活動基金管理委員会の開催

事業活動基金の募金活動方法等について委員会を開催した。

第1回

開催日：令和元年7月12日

場 所：かながわ県民センター

議 題：募金の推移、令和元年度の募金の活用について、今後の募金活動と活用目標等課題について

第2回

開催日：令和元年12月10日

場 所：かながわ県民センター

議 題：令和元年度事業活動募金中間報告、令和2年度の募金活用及び今後の募金活動方法について

ウ 諮問委員会（ゆめクラブ神奈川あり方委員会）の開催

理事長からの諮問（令和元年8月30日付け）に基づき4回開催（安藤正義委員長ほか5名の委員で構成）し、答申（令和元年12月6日付け）を行った（令和元年12月6日正副理事長会、同12月10日役員研修会、令和2年3月16日第3回理事会で報告）。

エ 県への予算要望活動等

友愛チーム活動事業の補助単価の引上げ及びゆめクラブ大学事業の継続実施、執務場所の確保等について、県知事、県議会議長等へ予算要望活動を行った。

実施日：令和元年8月2日

参加者：正副理事長

また各市町村老人クラブ連合会長が、県議会議員に対して同内容の要望活動を行った。

(2) 物品等の斡旋・推薦等

あしふみ器（推薦） (株)豊受

決 算 報 告 書

目 次

貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
正味財産増減計算書・・・・・・・・・・・・・・・・	2
正味財産増減計算書内訳表・・・・・・・・・・・・	4
財務諸表に対する注記・・・・・・・・・・・・・・	6
附属明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
財産目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
貸借対照表(内訳表)・・・・・・・・・・・・・・	11
監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,135,686	9,156,400	△ 20,714
現金	17,530	12,509	5,021
普通預金	8,766,261	9,057,066	△ 290,805
郵便貯金	351,895	86,825	265,070
未収金	139,604	0	139,604
流動資産合計	9,275,290	9,156,400	118,890
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	22,310,000	22,310,000	0
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	32,310,000	32,310,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	867,413	2,602,413	△ 1,735,000
特定資産合計	867,413	2,602,413	△ 1,735,000
固定資産合計	33,177,413	34,912,413	△ 1,735,000
資産合計	42,452,703	44,068,813	△ 1,616,110
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,494,774	432,684	3,062,090
預り金	275,994	198,976	77,018
賞与引当金	534,000	853,000	△ 319,000
流動負債合計	4,304,768	1,484,660	2,820,108
2. 固定負債			
退職給付引当金	867,413	2,602,413	△ 1,735,000
固定負債合計	867,413	2,602,413	△ 1,735,000
負債合計	5,172,181	4,087,073	1,085,108
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	36,280,522	38,981,740	△ 2,701,218
(うち基本財産への充当額)	(31,310,000)	(31,310,000)	(0)
正味財産合計	37,280,522	39,981,740	△ 2,701,218
負債及び正味財産合計	42,452,703	44,068,813	△ 1,616,110

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	24, 204	44, 232	△ 20, 028
基本財産受取利息	24, 204	44, 232	△ 20, 028
受取分担金	8, 559, 160	8, 832, 000	△ 272, 840
受取分担金	8, 559, 160	8, 832, 000	△ 272, 840
事業収益	3, 046, 690	2, 277, 500	769, 190
機関紙等収益	925, 000	1, 470, 000	△ 545, 000
各種行事参加収益	2, 121, 690	807, 500	1, 314, 190
受取補助金等	15, 314, 100	14, 341, 500	972, 600
受取地方公共団体補助金	15, 114, 100	14, 341, 500	772, 600
受取民間補助金	200, 000	0	200, 000
受取委託費	6, 124, 080	6, 445, 000	△ 320, 920
受取地方公共団体委託費	6, 124, 080	6, 445, 000	△ 320, 920
受取寄付金	1, 780, 611	2, 252, 568	△ 471, 957
受取寄付金	1, 329, 500	1, 572, 500	△ 243, 000
受取県共募寄付金	50, 000	0	50, 000
受取事業活動基金	401, 111	580, 068	△ 178, 957
受取賛助会費	0	100, 000	△ 100, 000
雑収益	447, 982	512, 455	△ 64, 473
受取利息	110	124	△ 14
雑収益	447, 872	512, 331	△ 64, 459
経常収益計	35, 296, 827	34, 705, 255	591, 572
(2) 経常費用			
事業費	33, 101, 507	31, 358, 728	1, 742, 779
給料手当	8, 823, 901	8, 713, 555	110, 346
賞与引当金繰入	466, 000	691, 000	△ 225, 000
退職給付費用	991, 988	272, 373	719, 615
法定福利費	1, 509, 125	1, 495, 983	13, 142
共済掛金	122, 190	119, 403	2, 787
福利厚生費	57, 349	67, 439	△ 10, 090
会議費	259, 826	237, 583	22, 243
旅費交通費	1, 030, 635	1, 049, 645	△ 19, 010
通信運搬費	467, 582	417, 046	50, 536
消耗品費	476, 884	309, 328	167, 556
印刷製本費	1, 025, 362	459, 144	566, 218
新聞・図書費	677	0	677
修繕維持費	216, 658	202, 415	14, 243
賃借料	2, 681, 709	2, 328, 351	353, 358
保険料	0	1, 000	△ 1, 000
諸謝金	303, 800	162, 264	141, 536
支払手数料	162, 497	150, 895	11, 602
租税公課	10, 000	3, 000	7, 000
支払負担金	61, 000	99, 000	△ 38, 000
支払助成金	14, 370, 460	14, 481, 500	△ 111, 040
委託費	25, 920	81, 000	△ 55, 080
雑費	37, 944	16, 804	21, 140

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	4,896,538	4,861,814	34,724
給料手当	2,071,097	2,064,123	6,974
賞与引当金繰入	68,000	162,000	△ 94,000
退職給付費用	346,642	64,627	282,015
法定福利費	353,169	319,122	34,047
共済掛金	27,810	27,597	213
福利厚生費	9,580	10,910	△ 1,330
会議費	84,011	86,416	△ 2,405
旅費交通費	190,655	226,547	△ 35,892
役員費	33,000	113,580	△ 80,580
通信運搬費	59,301	77,020	△ 17,719
消耗品費	19,061	18,721	340
印刷製本費	6,732	7,750	△ 1,018
新聞・図書費	900	3,480	△ 2,580
修繕維持費	54,843	51,237	3,606
賃借料	331,817	320,261	11,556
支払手数料	505,950	530,183	△ 24,233
支払負担金	714,000	745,000	△ 31,000
雑費	19,970	33,240	△ 13,270
経常費用計	37,998,045	36,220,542	1,777,503
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,701,218	△ 1,515,287	△ 1,185,931
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,701,218	△ 1,515,287	△ 1,185,931
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,701,218	△ 1,515,287	△ 1,185,931
一般正味財産期首残高	38,981,740	40,497,027	△ 1,515,287
一般正味財産期末残高	36,280,522	38,981,740	△ 2,701,218
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	37,280,522	39,981,740	△ 2,701,218

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	24,204	0	0	24,204
基本財産受取利息	24,204	0	0	24,204
受取分担金	4,700,000	0	3,859,160	8,559,160
受取分担金	4,700,000	0	3,859,160	8,559,160
事業収益	2,183,690	863,000	0	3,046,690
機関紙等収益	725,000	200,000	0	925,000
各種行事参加収益	1,458,690	663,000	0	2,121,690
受取補助金等	15,314,100	0	0	15,314,100
受取地方公共団体補助金	15,114,100	0	0	15,114,100
受取民間補助金	200,000	0	0	200,000
受取委託費	6,124,080	0	0	6,124,080
受取地方公共団体委託費	6,124,080	0	0	6,124,080
受取寄付金	1,226,111	474,000	80,500	1,780,611
受取寄付金	775,000	474,000	80,500	1,329,500
受取県共募寄付金	50,000	0	0	50,000
受取事業活動基金	401,111	0	0	401,111
雑収益	337,943	60,000	50,039	447,982
受取利息	71	0	39	110
雑収益	337,872	60,000	50,000	447,872
経常収益計	29,910,128	1,397,000	3,989,699	35,296,827
(2) 経常費用				
事業費	31,950,073	1,151,434	0	33,101,507
給料手当	8,497,063	326,838	0	8,823,901
賞与引当金繰入	445,000	21,000	0	466,000
退職給付費用	961,263	30,725	0	991,988
法定福利費	1,453,017	56,108	0	1,509,125
共済掛金	117,042	5,148	0	122,190
福利厚生費	55,050	2,299	(0)	57,349
会議費	259,826	0	0	259,826
旅費交通費	1,030,635	0	(0)	1,030,635
通信運搬費	467,582	0	0	467,582
消耗品費	455,348	21,536	0	476,884
印刷製本費	1,025,362	0	0	1,025,362
新聞・図書費	677	0	0	677
修繕維持費	216,658	0	0	216,658
賃借料	2,004,809	676,900	0	2,681,709
諸謝金	293,800	10,000	0	303,800
支払手数料	161,617	880	0	162,497
租税公課	10,000	0	0	10,000
支払負担金	61,000	0	0	61,000
支払助成金	14,370,460	0	0	14,370,460
委託費	25,920	- 0	0	25,920
雑費	37,944	0	0	37,944

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合 計
管理費	0	0	4,896,538	4,896,538
給料手当	0	0	2,071,097	2,071,097
賞与引当金繰入	0	0	68,000	68,000
退職給付費用	0	0	346,642	346,642
法定福利費	0	0	353,169	353,169
共済掛金	0	0	27,810	27,810
福利厚生費	0	0	9,580	9,580
会議費	0	0	84,011	84,011
旅費交通費	0	0	190,655	190,655
役員費	0	0	33,000	33,000
通信運搬費	0	0	59,301	59,301
消耗品費	0	0	19,061	19,061
印刷製本費	0	0	6,732	6,732
新聞・図書費	0	0	900	900
修繕維持費	0	0	54,843	54,843
賃借料	0	0	331,817	331,817
支払手数料	0	0	505,950	505,950
支払負担金	0	0	714,000	714,000
雑費	0	0	19,970	19,970
経常費用計	31,950,073	1,151,434	4,896,538	37,998,045
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,039,945	245,566	△ 906,839	△ 2,701,218
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,039,945	245,566	△ 906,839	△ 2,701,218
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,039,945	245,566	△ 906,839	△ 2,701,218
他会計振替額	38,000	△ 38,000	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,001,945	207,566	△ 906,839	△ 2,701,218
一般正味財産期首残高	36,941,293	66,003	1,974,444	38,981,740
一般正味財産期末残高	34,939,348	273,569	1,067,605	36,280,522
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	0	0	1,000,000
指定正味財産期末残高	1,000,000	0	0	1,000,000
III 正味財産期末残高	35,939,348	273,569	1,067,605	37,280,522

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・ 満期保有目的の債券
償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の評価基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

		(単位: 円)			
科	目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産					
定期預金		22,310,000	0	0	22,310,000
投資有価証券		10,000,000	0	0	10,000,000
小	計	32,310,000	0	0	32,310,000
特定資産					
退職給付引当資産		2,602,413	195,000	1,930,000	867,413
小	計	2,602,413	195,000	1,930,000	867,413
合	計	34,912,413	195,000	1,930,000	33,177,413

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

		(単位: 円)			
科	目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産					
定期預金		22,310,000	(1,000,000)	(21,310,000)	—
投資有価証券		10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小	計	32,310,000	(1,000,000)	(31,310,000)	—
特定資産					
退職給付引当資産		867,413	—	—	(867,413)
小	計	867,413	—	—	(867,413)
合	計	33,177,413	(1,000,000)	(31,310,000)	(867,413)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

		(単位: 円)		
種 類	及 び 銘 柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
かながわ県民債(第13回)		10,000,000	10,066,420	66,420
合	計	10,000,000	10,066,420	66,420

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

		(単位: 円)				
補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
事業費補助金	神奈川県	0	15,114,100	15,114,100	0	—
民間補助金	関東甲信越静岡ブロック老人クラブ連絡協議会	0	200,000	200,000	0	—
合	計	0	15,314,100	15,314,100	0	

6. 引当金の明細

(単位: 円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞与引当金	853,000	534,000	853,000	0	534,000
退職給付引当金	2,602,413	1,338,630	3,073,630	0	867,413

7. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度及び神奈川県福利協会の退職金共済によっている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務 … 867,413円

(3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用(県老連) … 1,338,630円

勤務費用(福利協会) … 150,000円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額によっている。

8. 資産除去債務に関する事項

当法人は、横浜市神奈川区の本部事務局について神奈川県からの県有財産賃貸借契約書に基づいて使用している。同契約書には退去時における原状回復義務が明記されているが、当該債務に関連する賃貸借期間が明確でなく、財産管理者から原状回復義務が免除される場合もあるため、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記6. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

財 産 目 録

令和2年 3月31日現在

貸借対照表科目		場 所 ・ 物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)				
	現金預金			
	現金	手元保管	運転資金として	17,530
	普通預金	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店 他 2 行	運転資金として	8,766,261
	郵便貯金	横浜沢渡郵便局 横浜駅西口郵便局	運転資金として 運転資金として	45,322 306,573
	未収金	心のうたコピー代として ゆめクラブ大学 返金分 地域支援担い手養成 返金分	雑収入(心のうた) 足枷上・中井町 県央・清川村	684 99,580 39,340
流動資産合計				9,275,290
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店 横浜沢渡郵便局	公益目的保有財産であり、運用益を老人クラブ事業の 財源として使用している。	12,310,000 10,000,000
	投資有価証券	第13回かながわ県民債	公益目的保有財産であり、運用益を老人クラブ事業の 財源として使用している。	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	職員に対するもの	職員1名に対する退職金の支払いに備えたもの	867,413
固定資産合計				33,177,413
資産合計				42,452,703
(流動負債)				
	未払金	業者等未払額 その他(退職給付引当金)	受取委託費、業者、会計事務所、社会保険料等未払分 定年退職職員に対する退職金(内、3,073,630)	3,494,774
	預り金		所得税、住民税、社会保険料等預り分	275,994
	賞与引当金	職員	職員2名に対する賞与引当金	534,000
流動負債合計				4,304,768
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員1名に対する退職金の支払いに備えたもの	867,413
固定負債合計				867,413
負債合計				5,172,181
正味財産				37,280,522

貸借対照表内訳表

令和 2年 3月31日現在

公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	4,181,643	294,569	4,659,474	9,135,686
現金	0	0	17,530	17,530
普通預金	3,875,070	294,569	4,596,622	8,766,261
郵便貯金	306,573	0	45,322	351,895
未収金	139,604	0	0	139,604
流動資産合計	4,321,247	294,569	4,659,474	9,275,290
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	22,310,000	0	0	22,310,000
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
基本財産合計	32,310,000	0	0	32,310,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	760,645	45,091	61,677	867,413
特定資産合計	760,645	45,091	61,677	867,413
固定資産合計	33,070,645	45,091	61,677	33,177,413
資産合計	37,391,892	339,660	4,721,151	42,452,703
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	178,899	0	3,315,875	3,494,774
預り金	68,000	0	207,994	275,994
賞与引当金	445,000	21,000	68,000	534,000
流動負債合計	691,899	21,000	3,591,869	4,304,768
2. 固定負債				
退職給付引当金	760,645	45,091	61,677	867,413
固定負債合計	760,645	45,091	61,677	867,413
負債合計	1,452,544	66,091	3,653,546	5,172,181
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	1,000,000	0	0	1,000,000
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(0)	(0)	(1,000,000)
2. 一般正味財産	34,939,348	273,569	1,067,605	36,280,522
(うち基本財産への充当額)	(31,310,000)	(0)	(0)	(31,310,000)
正味財産合計	35,939,348	273,569	1,067,605	37,280,522
負債及び正味財産合計	37,391,892	339,660	4,721,151	42,452,703

監 査 報 告 書

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

理 事 長 樋 口 恢 作 殿

令 和 2 年 5 月 11 日

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

監 事

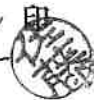
加田不二夫



公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

監 事

佐藤昭七



私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監 査 意 見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。